

市議会だより くるるめ

第195号

令和元年
11月15日発行

発行：久留米市議会
編集：議会広報委員会
久留米市城南町15番地3
TEL 0942(30)9305
FAX 0942(30)9720
E-mail gikai@city.kurume.fukuoka.jp

重要無形文化財 久留米絣
(公財)久留米絣技術保存会提供



ねらいを定めて
(10月9日 第32回全国グラウンド・ゴルフ交歓 福岡県大会)

CONTENTS [目次] 令和元年 9月定例会号

- 令和元年9月定例会 2
- 市政に対する一般質問 4
- 議案の議決結果と会派ごとの賛否の状況 8
- 令和元年10月臨時会 9
- 教えて！くるっぱ！ 9
議会への素朴な疑問をくるっぱがわかりやすく解説します
- 常任委員会の活動状況（7月～8月） 10



表紙の絣の模様は、毎号変えています。今回の作品名は「木もれ日」です。

大雨被害の支援のため 令和元年度一般会計補正予算などを議決

9月5日から20日までの16日間の日程で、令和元年第4回定例会を開催しました。

5日の本会議では、市長から令和元年度一般会計補正予算（第2号）、久留米市手数料条例の一部を改正する条例など29議案の提案説明がありました。

9日から12日までの本会議では、議員が市政に関する事務の執行状況や将来の方針などについて、市長や教育長に一般質問を行いました。（☞4P）

13日には教育民生常任委員会と建設常任委員会、17日には経済常任委員会と総務常任委員会を開催し、それぞれの委員会に付託された補正予算議案や条例議案などを審査しました。（☞2P）

18日には議会運営委員会を開催し、本会議最終日

の議会運営や、市長から追加で提出される議案の取り扱いを協議しました。

20日の本会議では、8月の大雨による被害の支援のため一般会計補正予算（第3号）が追加提出され、市長からの提案説明後に、総務・経済・建設常任委員会で審査しました。その後、各常任委員会の議案審査結果報告があり、全ての議案を可決、または承認し、追加提出された人権擁護委員候補者の推薦などの人事議案についても同意しました。（☞3P）

そのほか、平成30年度決算に関する議案15件が提出され、定例会閉会後に決算審査特別委員会で継続審査することとし、第4回定例会を閉会しました。

議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。ここでは、主な議案について、その内容と委員会における審査状況をお知らせします。

●第78号議案 久留米市印鑑条例の一部を改可決！ 正する条例

〔付託先：総務常任委員会〕

住民基本台帳法施行令の一部改正により、姓に変更があった者が住民票に旧姓の記載を求めることができるものとされたことに伴い、印鑑の登録及び登録の抹消に係る基準を整理しました。また、自動交付機を廃止し、コンビニエンスストアの多機能端末機による印鑑登録証明書交付が始まるに当たり、条例の規定について改正するものです。

委員から「今回の改正により、旧姓での印鑑使用が認められることで、市民生活や経済活動の中で、改善できる部分はどのようなものがあるか」との質疑があり、市民課から「住民票に旧姓を併記することで、各種契約や銀行口座の名義に旧姓が使えるようになるなどの利点が考えられる」との答弁がありました。

●第61号議案 令和元年度久留米市一般会計補正予算（第2号）

〔付託先：経済常任委員会〕

7月の大雨によって被災した農業者の経営再建支援、農業用水路等の復旧に要した修繕費、農業用排水路の復旧工事のほか、博多和牛の品質向上と安定生産のための人工受精経費の支援、県営水利施設整備事業費負担金の増額など、計1億8,714万8千円を増額補正し、年度内の完了が見込めないものについては、^{*}繰越明許費を設定するものです。

委員から「今回のような大雨による農業被害を未然に防ぐための今までの対策と、今後の対応はどのようにするのか」との質疑があり、農村整備課から「今までは、大雨警報が出た際に、農業用水路の水位を事前に下げて、農地の冠水被害軽減に対応している地域もあった。今後は、災害に備えた農業用水路の水位への対応を地域農業者へより早くお願いするとともに、適切な水門操作を行い、未然の防止に努めたい」との答弁がありました。

※繰越明許費…歳出予算の経費のうち、その性質上又は予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越して使用する経費のこと。

可決！

●第71号議案 長門石橋取付高架橋耐震補強(2期)工事請負契約の一部を変更する契約締結について

〔付託先：建設常任委員会〕

架設後44年が経過している長門石橋について、現行の耐震基準を満たしていないため耐震補強工事を行っているが、橋脚掘削施工時に地下水位が高く掘削法面が安定しないことから仮設土留工を増工するため、工期を30日間延長するものです。

委員から「長門石橋の耐震補強工事は長くかかっているようだが、経緯を伺いたい」との質疑があり、公園土木管理事務所から「長門石橋は、平成23年の東北地方太平洋沖地震を受けて24年に改訂された道路橋示方書の設計指針に基づき、25年度に耐震補強工事に着手した。本体工事は30年度に完了したが、引き続き、長さ約86メートルの取付高架橋の耐震補強工事に着手したものである」との答弁がありました。



耐震補強工事を行っている長門石橋取付高架橋

※掘削法面…建設機械で掘削することにより形成される斜面。

※仮設土留工…掘削を行う際に、周辺の法面や段差の崩壊を防止するために、一時的に設置する構造物。

可決！

●第65号議案 京町小学校校舎棟改築工事請負契約締結、第66号議案 同電気設備工事請負契約締結、第67号議案 同機械設備工事請負契約締結について

〔付託先：教育民生常任委員会〕

京町小学校校舎棟の改築工事に伴い、条件付一般競争入札で工事請負人を定めたため、その者と契約の締結を行うものです。

委員から「校舎の改築工事で運動場が使用できない状態が令和4年度まで続く予定ということだが、代替施設の場所はどこか。また、その場所まで、児童が安全に移動できるようにしているのか」との質疑があり、学校施設課から「工事期間中は、運動場の使用が制約を受けるため、近くの公園などを使用している。また、児童が使用する際には、教職員が引率して移動している」との答弁がありました。



京町小学校の第1期・2期工事完成予想図

※道路橋示方書…(公社)日本道路協会が作成した橋や高架の道路等に関する技術基準書。

同意した人事案件

市長が推薦または選任する人事には、議会の同意を得なければならないものがあります。なお、敬称は省略しています。

●人権擁護委員

東町 鍋島 典子
大橋町 西村 英治
三瀬町 野田 洋子

田主丸町 後藤 秀行
野中町 江藤 正剛
東川八丁目 岡 美代子

東町 田中健太郎
北野町 小坪喜代子
安武町 齋藤 公範

●固定資産評価審査委員会委員

津福今町 藤岡 廣子

市政に対する一般質問

一般質問とは、議員が市長などに対して、提案されている議案とは関係なく、市の事務の状況や今後の方針などの説明を求め、住民の代表として市政をチェックするものだよ。



スマホなどをお持ちの方は、各議員の顔写真の横のQRコードを専用アプリで読み取ると、本会議での質問の録画映像をごらんいただけます。



避難所となる施設の
安全確保は

明政会議員団 松延 洋一

問 7月、8月の豪雨で、避難所となった小学校では、天井からの雨漏りや、湿気で床が滑りやすい状況があったと聞いている。また、テレビやラジオもない避難所があり、災害や防災の情報を避難者が入手できず、不安だったとの声も出ている。市は、避難所の環境整備について、どのように考えているのか。

答 避難所では、防災情報を得るためにテレビ等が必要であると考え、スマートフォンなどが普及し、防災情報の入手の仕方も変化しているため、適切な情報提供について考えていきたい。

今後は、安全で基本的な避難生活ができる避難スペースの確保を最優先に考えたい。また、多様な避難者のニーズに対応し、防災情報を適切に提供するため、既存施設の活用を基本に、よりよい避難所づくりに努めていきたい。

◎その他の質問…市契約業務のあり方についてなど



城島地域の小学校統合に
向けた取り組みは

明政会議員団 市川 廣一

問 城島地域の下田小学校や浮島小学校については、現在、統合に向けた協議が進められている。

教育委員会は、地域住民の不安や疑問に寄り添いながら、小学校統合への理解を進めてほしいと思うが、今後どのように取り組んでいくのか。

答 教育委員会では、昨年10月に久留米市立小学校小規模化対応方針を策定し、本年2月から城島地域で説明会を開催している。説明会では、統合に対する不安や不満のほか、校区コミュニティの存続等について、より具体的な協議を行うべきだとの前向きな意見もいただいている。今後も引き続き丁寧な説明に努め、地域や保護者の方々と具体的な課題等について意見交換ができるような場も設定し、統合への取り組みを進めていきたいと考えている。

◎その他の質問…職員の新人人材育成基本方針についてなど

浸水を繰り返す地域への対策は



日本共産党久留米市議団 金子むつみ

問 ここ数年、本市では内水氾濫^{*}が続いており、床下・床上浸水の被害を繰り返し受けている地域の方々は大変悩まれている。平成30年7月豪雨後、池町川流域の鳥飼・京町・荘島校区を対象に行った意見交換会での意見を踏まえ、どのような対策を行ってきたのか。また、今後の対策について考えを伺いたい。

答 31年2月の意見交換会では、池町川流域の排水ポンプの能力アップや避難行動につながる情報提供などの意見が出され、県と連携して河川内の土砂を取り除いた。また、平成30年7月豪雨を反映した道路冠水注意マップや水門等の開閉状況をホームページで公開した。現在、国・県・市等で構成する浸水対策検討会で、排水ポンプの能力アップ等を含めた効果的で経済的な対策を検討しており、ことしの大雨の特徴も踏まえた浸水被害軽減対策を決定したい。
◎その他の質問…本市のアスベスト対策についてなど

競輪事業継続のための今後の対応と計画は



緑水会議員団 佐藤 晶二

問 競輪事業は本市の貴重な収益事業であるが、全国的にもブームが去り、底を打った状況になっている。これから再び隆盛に持って行くには、大変厳しい状況であると思われるが、事業を継続していくための対応と計画について、市の考えを伺いたい。

答 久留米競輪は、ナイター競輪への参入や業務の委託化などの取り組みにより、平成24年度以降、毎年1億円以上を一般会計へ繰り出しており、今後も引き続き事業を継続していきたいと考えている。

また、久留米競輪場は、施設の老朽化・陳腐化が進んでおり、抜本的な改修が必要であると考えている。改修にあたっては、単なる建てかえではなく、効率的な事業運営や施設管理の視点で、インターネット時代に即した場外でのレース観戦や、ファンサービスができる施策などを検討していきたい。

◎その他の質問…久大本線四つの新駅事業についてなど

※内水氾濫…大雨により筑後川などの水位が上昇して、支川や排水路に流入した雨水が流れず、道路や宅地などに溢れ出すこと。

※自校方式…学校の給食室で学校給食を調理すること。

給食調理室の空調整備は



明政会議員団 南島 成司

問 学校の敷地内にある給食調理室の夏場の室温は、平均35.3度と高温であり、調理員は過酷な環境の中で働いている。しかし、ほとんどの自校方式^{*}の給食調理室では空調が未整備であり、全校への設置には時間がかかると思われるが、その間の対応を市はどのように考えているのか。

答 国が定めた学校給食衛生管理基準では、給食調理室の温度は25度以下に保つよう努めることとされており、調理員の労働環境整備の面からも、空調設備の設置は必要であると認識している。自校方式の給食調理室では、改修工事を計画的に進めており、現在、自校方式42校のうち6校で空調設備を整備している。改修までの応急的な措置として、衛生面でも設置可能な34校にスポットクーラーを配備している。
◎その他の質問…豪雨による農地の水害対策についてなど

高齢者の運転免許自主返納の取り組みの推進は



みらい久留米議員団 藤林 詠子

問 高齢者の運転免許自主返納を促すためには、生活支援交通の充実だけでなく、バス利用体験会や、免許返納者やその家族から話を聞く機会を設けるなど、市民と協働した取り組みが考えられる。

今後、自主返納の取り組みをどのように展開していこうと考えているのか。

答 高齢ドライバーによる交通事故を防止するには、自身の運動能力の変化を自覚してもらうことが最も重要であると考えており、高齢者の交通安全教室等で免許の自主返納について呼びかけている。

今後は、実体験型の交通安全講習を充実させるなど、免許返納のきっかけとなる、より効果的な方法を検討し、関係団体と連携して運転に不安のある高齢者の免許返納を後押ししていきたい。

◎その他の質問…医療的ケアを必要とする児童生徒のための小学校、中学校への看護師配置についてなど

※生活支援交通…鉄道や路線バスなどの既存公共交通を補完、連携することで、高齢者をはじめとする自動車を自由に運転することができない移動制約者の買い物や通院などの日常生活の移動手段を確保することを目的として運行している。



大雨により被災した 中小零細企業への支援は

明政会議員団 古賀 としかず

問 大雨により浸水被災した中小零細企業に対し、市はどのような支援を行っているのか。

また、今後災害の発生が予想される中、災害時に加え、日ごろからの支援も重要だと考えるが、市の中小零細企業への支援について伺いたい。

答 市は、7、8月の大雨災害の発生後、相談窓口を設置し、被害が大きい地域の商工事業者の訪問調査を行い、被災状況や支援ニーズの把握に努めた。それらを踏まえ、緊急経営支援資金融資の受付などの支援も行っている。市では、日ごろより販路開拓支援などに取り組んでいるが、今後、国の施策を踏まえ、商工団体や関係団体との連携を強め、中小・小規模事業者の経営の安定化や持続的な発展に向けた施策の充実に取り組んでいきたい。

◎その他の質問…コンパクトシティの中心拠点と地域生活拠点についてなど



市立小学校のプール授業の 民間委託は

公明党議員団 山下 尚

問 小学校のプールの改修には、1カ所につき1億5,000万円から2億円かかると言われている。

近年、プールの授業を民間事業者に委託して行う自治体がふえており、プールの老朽化が進む本市でも検討すべきと思うが、市の考えを伺いたい。

答 全国では、学校のプールの老朽化等を契機に公営または民間のプールを利用したり、民間のインストラクターによる水泳指導を受けたりしている事例がある。これらの取り組みは、プールの改修費などの維持管理費の削減のほか、専門的な指導による児童の水泳技能向上等のメリットがある一方、費用や移動に時間がかかることなどが課題である。

しかし、専門的な指導を受けた方が効果的であり、施設を管理する教員の負担軽減にもなるため、実現に向けて検討していきたい。

◎その他の質問…通級指導教室についてなど



幼児教育・保育の無償化に 伴う副食費の徴収は

明政会議員団 轟 照隆

問 10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、給食の副食費は、保育所が利用者から徴収することとされている。小・中学校でも大きく取り上げられていた給食費未納の問題が、幼児教育・保育の現場でも起きないとはいえず、児童手当からの徴収など、市が支援することはできないか。

答 無償化後の副食費については滞納が生じることも考えられ、保育所が食材料費の徴収を円滑に実施できるよう支援する必要があると認識している。また、国は市町村の支援の例として「受給者の申し出に基づく児童手当からの徴収が可能」との判断を示している。具体的な支援策は未定だが、状況に応じて滞納者に保育所への支払いを促すなど、市のかかわり方については今後前向きに検討したいと考えている。

◎その他の質問…老人いこいの家の施設老朽化に対する今後の対応についてなど



市営住宅跡地の早期売却を

久留米たすき議員団 原 学

問 市営住宅跡地などの市有財産を有効活用するため、売却価格基準を見直すなど、早期処分のために条例を改正したことは評価している。

しかし、中には整地したままで何年も放置されているところもあり、地域住民にとっては理解しがたいものである。売却できるようになるまでの期間をさらに短縮する必要があると思うが、いかがか。

答 市営住宅跡地は地域活性化に資すると考えており、市有財産の有効活用及び市営住宅跡地を起爆剤にした都市開発について、現在の法体系の中で研究を進めているところである。

また、人口減少時代になり、空き家もふえている中、市営住宅のあり方を見直す必要があると考えており、今後も、国や県と協力しながらしっかりと取り組んでいきたい。

◎その他の質問…学力アップの取り組みについてなど

災害発生時の市民からの 情報収集とその活用は



久留米たすき議員団 堺 太一郎

問 他自治体では、市民が災害情報を位置情報つきの写真で投稿し、関係機関の迅速な対応につなげる取り組みを行っている。災害情報の発信について、市民から提供される画像などの情報を共有し、広く提供することが有効と考えるが、市の考えを伺いたい。

答 市民から提供いただいた災害情報を発信するには、その情報が正しいのかなどの確認が必要である。本市では、職員が災害現場を確認したうえで情報発信することを基本と考えているが、他自治体の先進事例を踏まえ、今後研究していきたい。

なお、今年度から、災害現場対応職員が送ってきた道路冠水などの映像を市のホームページやフェイスブックで配信し、河川のライブカメラ映像や水門の開閉状況もホームページで随時配信している。

◎その他の質問…JR久大本線（仮称）浮羽究真館高校前駅の設置推進についてなど

子育て環境の充実に向けた 取り組みは



緑水会議員団 森崎 巨樹

問 出産後の出生届や医療証の申請など各種手続きの負担軽減、授乳室やおむつ交換場所の市全域での整備、子育て支援関係のリーフレットの一元化、市と民間企業のホームページのすみ分けなど、市は子育て支援について、どのように考えているか。

答 出産後の手続きはさまざまあり、負担に感じる保護者もいるため、簡素化に努めたい。また、授乳室などの設置ができていない公共施設もあるため、子育てする人に優しい公共施設となるよう環境を整えていきたい。子育て支援関係のチラシは、集約化も含めて検討していきたい。ホームページでの情報発信は、民間企業でも子育てに関する情報が多数掲載されている中、市では子育て支援や相談窓口等の情報をわかりやすく、タイムリーに発信していきたい。

◎その他の質問…小学校適正規模化と今後の展望についてなど

中高年のひきこもり支援の 取り組みは



公明党議員団 太田 佳子

問 80代の親が50代の子どもを支える8050問題は深刻であり、中高年のひきこもりがいる世帯が社会から孤立しやすい傾向にある。市は、中高年のひきこもりに対しどのような支援を行い、支援が届いていない人にどう取り組んでいくのか。

答 久留米市生活自立支援センターでは、一般就労に向けたセミナーや就労訓練、ハローワーク等の関係機関と連携した支援を行っている。また、保健所では、保健師や精神保健福祉士による電話・窓口での相談、必要に応じた自宅への訪問、悩みの共有や当事者同士の情報交換ができる場を紹介するなどの対応を行っている。

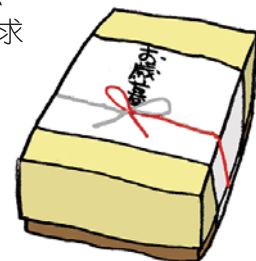
今後は、ひきこもり相談窓口の一層の周知に努めるなど、ひきこもり状態にある人に対する支援が適切に届くよう取り組みを進めていく。

◎その他の質問…自転車保険加入促進についてなど

議員が寄附すること、議員に寄附 を求めることは禁止されています

公職選挙法では、選挙区内の者に対し、次のようなことを禁止しています。

- 議員や後援会が、寄附や有料の挨拶広告を出すこと
- 議員や後援会が、お歳暮やお中元を贈ること
- 議員が、年賀状や暑中見舞いなどの挨拶状を出すこと（自筆の答礼は除く）
- 市民や団体が、議員に寄附を求めること



問い合わせ先
選挙管理委員会事務局
TEL 0942-30-9238
FAX 0942-30-9752

議案の議決結果と会派ごとの賛否の状況

議案名	会派名						議決結果
	明政会 (12)	たすき (8)	公明党 (6)	緑水会 (5)	みらい (2)	共産党 (2)	
第59号 自動車破損事故による損害賠償の専決処分について	○	○	○	○	○	○	承認
第60号 自動車破損事故による損害賠償の専決処分について	○	○	○	○	○	○	
第61号 令和元年度久留米市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	可決
第62号 令和元年度久留米市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	
第63号 令和元年度久留米市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	
第64号 町及び字の区域の変更について	○	○	○	○	○	○	
第65号 京町小学校校舎棟改築工事請負契約締結について	○	○	○	○	○	○	
第66号 京町小学校校舎棟改築電気設備工事請負契約締結について	○	○	○	○	○	○	
第67号 京町小学校校舎棟改築機械設備工事請負契約締結について	○	○	○	○	○	○	
第68号 南小学校校舎増築工事請負契約締結について	○	○	○	○	○	○	
第69号 久留米市庁舎空調設備改修機械設備工事請負契約締結について	○	○	○	○	○	○	
第70号 訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	
第71号 長門石橋取付高架橋耐震補強（2期）工事請負契約の一部を変更する契約締結について	○	○	○	○	○	○	
第72号 消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	
第73号 久留米市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	
第74号 久留米市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	
第75号 久留米市会計年度任用職員給与条例	○	○	○	○	○	○	
第76号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	
第77号 久留米市消防団条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	
第78号 久留米市印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	
第79号 久留米市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	
第80号 久留米市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	
第81号 久留米市子どものための教育・保育給付に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	
第82号 久留米市特定教育・保育施設の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	
第83号 久留米市特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	
第84号 久留米市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	
第85号 久留米ふれあい農業公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	
第86号 久留米市水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	
第87号 久留米市営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	
第88号 令和元年度久留米市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	
第91号 久留米市表彰条例に基づく表彰について	※1	○	○	○	○	○	同意
第92号 人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	
第93号 久留米市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	

会派名の（ ）内の数字は所属議員数です。ただし、明政会は議長を除きます。議長は表決に加わりません。

賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。

会派名：明政会（明政会議員団）、たすき（久留米たすき議員団）、公明党（公明党議員団）、緑水会（緑水会議員団）、みらい（みらい久留米議員団）、共産党（日本共産党久留米市議団）

※1 明政会議員団は、賛成11人、除斥（利害関係のある議案の審議には参加できないこと）1人。

令和元年 10 月臨時会

10月7日、臨時議会が招集されました。8月の豪雨災害で被害を受けた農業者の方々を支援するため、提案された一般会計補正予算議案について、総務常任委員会と経済常任委員会に付託し、審査したあと、本会議で審議採決しました。

議案の議決結果と会派ごとの賛否の状況

議案名	会派名						議決結果
	明政会 (12)	たすき (8)	公明党 (6)	※2 緑水会 (5)	みらい (2)	共産党 (2)	
第94号 令和元年度久留米市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	可決

会派名の（ ）内の数字は所属議員数です。ただし、明政会は議長を除きます。議長は表決に加わりません。賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。

会派名：明政会（明政会議員団）、たすき（久留米たすき議員団）、公明党（公明党議員団）、緑水会（緑水会議員団）、みらい（みらい久留米議員団）、共産党（日本共産党久留米市議団）

※2 欠席者が1人いたため、表決に参加したのは4人となります。

議員個人の賛否の状況は、ホームページでごらんいただけます。

[久留米市議会 議案と結果](#)

[検索](#) クリック



行政視察報告

委員会が行政視察を行いました。詳しい内容は市議会ホームページをごらんください。

委員会名	期間	視察先	視察の主な項目
議会運営委員会	7月17日 ～19日	調布市	議会運営について、議会改革について
		八尾市	



久留米市
イメージキャラクター
くるっぴ

教えて！くるっぴ！

会議録検索システムって何？

久留米市議会の本会議での議員の質問や市長や教育長の答弁などは、会議録にまとめられ、市役所1階の行政資料閲覧コーナーや、市立図書館などで自由に読むことができるよ。

その会議録をホームページでみるのが、会議録検索システム。平成19年5月以降の

本会議録を、語句や期間、発言者等を指定して検索できるよ。

便利だから使ってみてね。

■ アクセス方法

久留米市公式HP → 久留米市議会 → 本会議録検索

久留米市議会
会議録検索システム

[久留米市トップへ](#)

[久留米市議会トップへ](#)

トップ
閲覧
検索
ヘルプ

ご覧になれるのは平成19年5月以降の定例会・臨時会会議録です。

閲覧	会議録を閲覧する場合は、「閲覧」ボタンをクリックください。
検索	ことばで検索する場合は、「検索」ボタンをクリックください。
ヘルプ	操作説明をご覧になりたい場合は、「ヘルプ」ボタンをクリックください。



久留米市議会HPの
会議録検索システム
QRコード

詳しくは、議会事務局まで
お問い合わせください。

常任委員会の活動状況（7月～8月）

総務常任委員会

▶ 7月29日

▷ ふるさと納税の取り組みについて

令和元年6月に地方税法等が改正されたことを受け見直された、ふるさと納税の取り組みについて、総務部総務課から説明を受けました。

Q ふるさと納税の返礼品としてジャムなどの加工品があるが、これらは事業者がふるさと納税用につくっているのか。

A 返礼品については、事業者からの提案を採用しており、提案された返礼品が国や市の基準に該当するかどうか審査して選定している。現在、定番商品の提案が多いため、今後、行政側から返礼品の商品開発の企画ができるかどうか検討していきたい。

Q 返礼品として商品を送るだけでなく、体験型のプランなどのより魅力ある返礼品の開発について、どう考えているのか。

A 本市の魅力を発信できるような返礼品の開発については、検討が十分できていないと認識している。国も従来の返礼品競争を見直し、今回の制度改正となっているため、これを契機に本市の魅力をどう発信していくかを検討していきたい。



久留米市ふるさと納税特設サイト

▶ 8月28日

▷ 久留米シティプラザについて

久留米シティプラザの管理運営の状況やその改善のため委託しているコンサルティングの状況報告、今後の管理運営改善策などについて、久留米シティプラザから説明を受けました。

Q 久留米シティプラザは、単に文化芸術活動を実施するだけではなく、中心市街地の空洞化に歯止めをかける目的もある。市は、商店街や地域への経済効果も生み出していく必要があると考えるが、現状はいかがか。

A シティプラザには、開館から3年間で167万人を超える方々にご来場いただいている。平成28年度の九州経済調査協会の調査によると、シティプラザの来場者がもたらす経済波及効果は年間約14億8千万円と示されている。また、商店街の空き店舗率が改善するなど、一定の効果が出ていると考えている。

Q 全国にある文化施設のほとんどで支出が収入を上回っている中、シティプラザの収支をどのくらい改善するのかなど数値目標はあるのか。

A 明確な数値目標はない。シティプラザの収支差額は文化振興や地域活性化に必要な事業費と考えている。現在、これまでのシティプラザの運営状況について、専門的視点によるコンサルティングを受け、その適切な市の負担水準はどこかを見極めていくところである。



パブリックビューイングでにぎわう
久留米シティプラザ六角堂広場

教育民生常任委員会

▶ 7月24日

▷ スポーツ振興基本計画の取り組みについて

国の第2期スポーツ基本計画等の状況を踏まえ、新たな久留米市スポーツ振興基本計画について、体育スポーツ課から説明を受けました。

Q ※総合型地域スポーツクラブの設置状況と市からの支援について伺いたい。

A 現在、市内には7つの総合型地域スポーツクラブが設置されており、会員数は、平成29年度が1,700人、30年度が2,040人と増加している。28年度までは市が運営費の助成を行っていたが、現在は、会費や自主事業等で運営されている。

※総合型地域スポーツクラブ…地域でスポーツに親しむことができるよう、地域住民により、自主的・主体的に運営されているスポーツクラブ。

Q 性別を問わず、小学生から高齢者までがスポーツに親しむことで、健康寿命の延伸に役立ててほしいと思うが、高齢者向けスポーツの実施状況について伺いたい。

A 現在、総合型地域スポーツクラブと連携して、高齢者が参加できるニュースポーツの講習会を実施している。また、みづま総合体育館や荘島体育館等でもダーツやペタンクなど、高齢者だけでなく、各年齢層の市民が親しむことができるような講習会等を開催している。



総合型地域スポーツクラブと連携して実施したニュースポーツの講習会

▶ 8月16日

▷ 次期地域福祉計画の策定について

地域福祉を取り巻く環境の変化や新たなニーズに対応する取り組みをより一層充実させていくため、令和2年度から7年度までを新たな計画期間とする次期久留米市地域福祉計画について、地域福祉課から説明を受けました。

Q 現行の第2期計画の重点目標の中に「誰もが集える場をつくる」とあるが、小地域ネットワーク活動の一つである、いきいき・ふれあいサロンの活動に、市や校区の社会福祉協議会とどのように取り組んできたのか。

A サロンの設置数はふえているが、高齢者の利用が中心となっている。障害者や子どもなど、さまざまな方が集えるような共生型のサロンとなるよう社会福祉協議会とも十分に協議していきたいと考えている。

Q 日常生活上の支援が必要な高齢者等が、住みなれた地域の中で人々と交流しながら生活していくために、小学校校区単位に[※]支え合い推進会議を設置しているが、今後、どのように発展させようと考えているのか。

A 支え合い推進会議が設置されている校区では、まずは地域での支え合いが必要だという共通認識を図るところから活動を始められている。次のステップとしては、校区の実情に即した課題解決に向けた活動に取り組みたいと考えている。

※支え合い推進会議…生活支援活動等の充実を図り、地域における支え合いの仕組みづくりを推進するため、情報共有や連携強化等を行う、校区コミュニティ組織の区域ごとに設置される協議体のこと。

常任委員会の活動状況（7月～8月）

経 済 常 任 委 員 会

▶ 7月25日

▷ 企業誘致の推進について

全国と福岡県の工場立地動向などを踏まえた本市の企業誘致の取り組みや新産業団地整備の状況、これまでの実績・効果について、企業誘致推進課から説明を受けました。

Q 市は、産業団地などへ立地する企業に対して産業振興奨励金などの優遇制度を実施しているが、企業は、他市と比べてどう感じているのか。

A 地理的条件が不利な地域では、優遇措置がさらに手厚くなっているところもあるようだが、基本的には、本市の優遇制度が他市と比べて見劣りするという声は聞いていない。

Q 株式会社資生堂の進出決定により、多くの雇用が期待されると同時に、地元企業の人材確保への影響も想定される。今後、市はどのように取り組んでいくのか。

A 資生堂の従業員の採用については、本市だけでなく周辺の市町を含む広域で検討されている。市では、近隣のハローワークとも情報交換を行っており、今後も、しっかりと取り組んでいきたい。

一方で、就職により市外へ転出した方やその家族、市外から本市に戻って求職している方からは、資生堂の求人はいつ始まるのかという問い合わせも受けており、Uターンの促進や、市外への転出の抑止にもつながると考えている。

▶ 8月20日

▷ 下水汚泥の資源・エネルギー利用について

本市の下水処理場では、微生物の力で水をきれいにする活水汚泥法により汚水を処理し、河川へ放流しています。

今回、汚泥や消化ガスが発生する過程とその利用方法について、南部浄化センターの現地調査を行いました。

南部浄化センターでは、処理の過程で生じる汚泥や、メタンガスを主成分とする消化ガスは、資源やエネルギーとして有効に利用しています。

現地では、汚泥が生じるまでの処理過程や、発生した消化ガスをエネルギーとして利用するための施設を調査しました。

汚泥は、建設資材や肥料の原材料として有効利用されます。また、消化ガスはマイクロガスタービン方式の発電設備で発電し、発生した電気は全量売電しています。



生物反応槽の前で下水処理の過程を説明



汚泥が沈んだ様子を確認

建設常任委員会

▶ 7月24日

▷ 開発許可制度について

健全な市街地の実現を目的とした開発許可制度の現状と、市街化調整区域^{*}内の鉄道駅周辺の活性化等を図るため来年6月から施行予定の同制度の改正について、建築指導課から説明を受けました。

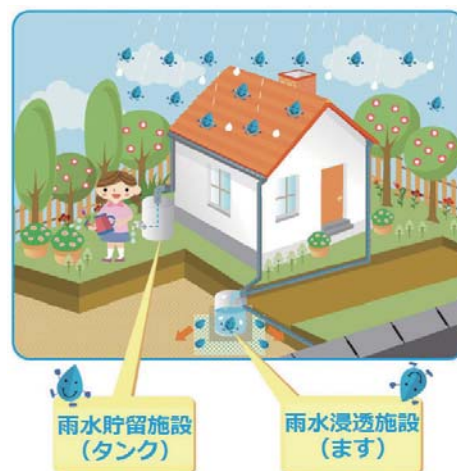
Q 今回、市内11カ所の鉄道駅周辺の半径500メートルの範囲で開発許可要件が緩和され、複数の拠点整備となる。居住地域の選択と集中をしていくコンパクトなまちづくりとは逆に、人口拡散につながってしまう可能性があるのではないか。

A 今回の開発許可の緩和は、鉄道駅周辺で高齢者が歩いて暮らせる範囲に限定して居住を誘導するものであるため、人口拡散にはつながらないと考える。

^{*}市街化調整区域…市街化を抑制する区域のこと。

Q 農地を転用して開発した場合、これまでは地下水として吸収されていた雨水が排水路に流れ、許容量をこえる可能性があるが、このことについてどう考えているのか。

A 開発許可の審査においては、造成される宅地の敷地内に浸透ますを設置していただくなどの指導を行っている。また、市街化区域内では、貯留池機能を持った農地等の保全など



雨水流出抑制施設の種類

についても検討し、全体的な浸水対策等を進めていかなければならないと考えている。

▶ 8月19日

▷ 道路の安全対策について

誰もが安全・安心に利用できる道路環境を目指す市道の安全対策の取り組みについて、道路整備課から説明を受けました。

Q 現在、南校区と上津校区の市道に^{*}ハンブが設置されているが、かかった費用はいくらか。また、先に設置された南校区では、ハンブ設置後、交通事故の件数は減ったのか。

A 設置費用は場所等によって変わるが、南校区の交差点部は約420万円、上津校区の交差点部は夜間工事でカラー舗装の面積も広がったため約700万円かかっている。南校区の事故件数は、設置前は年間平均約4件あったのが、設置翌年は1件となっており、今後も経過を見ていきたいと考えている。

^{*}ハンブ…道路の一部に凸部を設け、通過する車両に上下の振動を及ぼすことで運転者に減速を促すもの。

Q 小・中学校の通学路合同点検について、検討中などの状況がわかるようホームページに掲載した上で、PTAや自治会等に情報提供等を行う必要があるのではないか。

A ホームページは毎年更新をしている。また、危険箇所への対策については各学校を通じて要望していただくので、状況の報告は、各学校の担当者に対して適宜行っている。



ハンブを設置した南校区の交差点

市議会だよりを音訳・点訳でお届け

市議会だよりくるめは、視覚に障害のある人を対象に、デージー版CD、点字冊子を作成しています。デージーとは、CDに音声を吹き込んだデジタル録音図書で、専用再生機やパソコンで再生できます。

音訳版・点訳版はボランティアが作成

市議会だよりくるめ音訳版は、朗読ボランティア「コスモス」の皆さんが作成しています。まずは、ボランティア3人で原稿を確認して念入りに下読みをし、音声を吹き込みます。録音には丸一日かかる大変な作業です。



正しく伝わるよう気をつけながら行う吹き込み作業

代表の大塚泰子さんは、「視覚に障害のある方のお役に立ちたいという思いで活動を続けています。たくさんの方に聞いていただけたら嬉しく思います」と話してくださいました。

また、点訳版の作成は、点訳ボランティア「きつつき」の皆さんが作成しています。

4人で分担して打ち込み、校正後、中央図書館の点字プリンタで半日以上かけてプリントします。

市議会だより担当の猪飼早苗さんは、「作成には苦労もありますが、よりわかりやすくなるよう工夫しています。点訳版の存在を知らない方にもっと知ってもらいたいです」と話してくださいました。

音訳版・点訳版の申込みは議会事務局まで

市議会だよりくるめ音訳版・点訳版をご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

お申込みいただいた直近の号から、郵送します。利用料は無料です。

問い合わせ先：議会事務局

TEL 0942-30-9305

FAX 0942-30-9720

メール gikai@city.kurume.fukuoka.jp

次回の定例会（予定）のお知らせ

今回は、12月4日（水）から18日（水）の期間で開催する予定です。全ての日程の開催時刻は、午前10時を予定しています。なお、日程は予定ですので、都合により変更されることがあります。

- 12月4日（水）… 議案の提案説明など
- 6日（金）～11日（水）… 一般質問など
- 12日（木）… 常任委員会（教育民生・建設）
- 13日（金）… 常任委員会（経済・総務）
- 18日（水）… 審議採決など

本会議は自由に傍聴できます。市庁舎20階東側の「傍聴席入口」からお入りください。

※本会議はインターネットで生中継しており、スマホやタブレットでも見ることができます。



久留米市議会HPの
議会中継のQRコード

議会基本条例の検証を行っています

市議会では、議会の資質を高め、開かれた議会運営に努めるため、議会の活動原則や市民と議会の関係などを定めた久留米市議会基本条例を制定しています。

今年度の改選を契機として、その条例の目的が達成されているかどうかを、議会運営委員会において検証することとし、8月29日と9月18日の委員会では、具体的な検証方法について協議を行いました。

今後は、条例の条文ごとに検証を進めていく予定です。

◆ 編集後記 ◆

議会広報委員会が現在抱える検討課題として、広報紙のリニューアル、学生や若者への周知や啓発、市議会の活動に対する理解、情報発信の充実などがあります。この市議会だよりを通して、市民の皆様にもわかりやすく、親しみやすく、読みやすく伝えていきたいと思っています。どうぞご期待ください。

議会広報委員会

「市議会だよりくるめ」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。